

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR B作業班（第6回）議事要旨（案）

- 1 開催日時：平成25年12月12日（木） 14時00分～17時30分
- 2 開催場所：経済産業省別館 1階 104会議室
- 3 出席者（順不同）

【構成員】井上主任(KEC)、吉岡主任代理(富士電機)、田辺主任代理(電中研)、林構成員(三菱電機)、阿部構成員(JR東日本)、阿良田構成員(電技協)、石田構成員(ARIB)、江場構成員(電事連)、大嶋構成員(NHK)、金子委員(日本溶接協会)、川崎構成員(鉄道総研)、川村構成員(ノキア)、木下構成員(JEITA)、久保田構成員(TELEC)、栗原構成員(JMTBA)、篠塚構成員(NICT)、田島構成員(NTT-AT)、塚原構成員(日産自動車)、中村構成員(鉄道総研)、福島構成員(超音波工業会)、中野構成員(JEMA)

【事務局】総務省：澤邊電波利用環境専門官、黒田係長、寺田官

4 議事概要

- ・事務局から配付資料の確認が行われた。
- (1) 前回議事要旨案について、修正意見等あれば1週間以内に事務局まで連絡することで承認された。＜資料6-1＞
 - (2) CISPR B作業班の構成員の追加について、井上主任より報告があり、下記2名が新たに構成員に加わった。
 - ・塚原 仁 構成員(日産自動車(株))
 - ・栗原 治弥 構成員(日本工作機械工業会)
 - (3) ・CISPR オタワ会議審議結果(SC/B、WG2)について、吉岡主任代理・田辺主任代理より報告が行われた。＜資料6-2～資料6-6＞
 - ・太陽高発電以外のGCPCへの対応について
 - ・9 kHz - 150 kHz 帯域の規定化への対応について
 - ・CISPR/TR18、26への対応について
 - ・井上主任より、参考資料「電波利用環境委員会報告(SC-B関係)(案)」及び、「電波利用環境委員会報告概要(SC-B関係)」を電波利用環境委員会への資料とする旨の報告があった。→作業班了承。＜参考資料6-8-1、参考資料6-8-2＞
 - (4) ・WPTアドホックグループ設置について、事務局から説明を行った。＜資料6-7＞(澤邊専門官より、WPTアドホックグループの目的・体制・検討項目・スケジュールについて説明を行った。)

主な質疑応答等は以下のとおり。

- ・ 金子構成員：WPT の検討については標準化の方式によって違うが、ワット数・周波数はどのように考えていくのか？また、WPT 作業班と、WPT アドホックとの関係について伺いたい。
澤邊専門官：WPT 作業班の中で周波数の検討を行っており、その検討を CISPR/B/WPT アドホックに反映をしていく。
井上主任：CISPR としては、方式やスペックの検討ではなく、測り方と許容値を検討するものである。

- ・ 井上主任：CISPR/B/WPT アドホックには「B 作業班主任」として参加するので、測定のスぺシャリストを当該アドホックに参加させたい。
→別途連絡することとなった。

- ・ 質疑応答後、アドホックの設立について作業班内です承された。
また、井上主任より、当該アドホックのリーダーに久保田氏を指名した。

- ・ アドホックメンバーについては、年内に確定させ、年明けから活動を開始することとした。